

児童発達支援 事業所における自己評価結果

公表: 令和 6年 3月29日

事業所名: 藤家 児童発達支援

区分	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2		1	一人一人時間帯を確保している。部屋を分けて使用している。	
	2 職員配置数は適切であるか	1	1	1	医療的ケア児が多いため、看護師を中心に事故が起こらないようにしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3			バリアフリーであることはもちろん、ビクトサインなどで各部屋がわかるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			事業所が開く前、早朝から館内清掃を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2		1		職員に対しての指導に加え、業務改善に興味を持ってもらえるように指導していきたいと思えます。また、情報共有の仕方も常に考えていきたいと思えます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2		1	お便り帳が電話対応がされている。	保護者の意見を全員に共有していきたいと思えます。また、職員自身の自己評価が改善し、事業所に対する評価が上がるように各々日々職員同士でも意識を高めあえるように努力します。特に新入職員への個別指導もしていきたいです。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1		2	年度末にアンケートを行っている。	ホームページにてアンケート結果を公表している。保護者には、ここにこだわりを毎月発行している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		2	地域にお住まいの方を第三者委員会に選任し、地域住民の立場から本事業所のサービスに関するご意見などいただいております。	第三者委員会からの評価もわかるように事業所内周知に努めます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2		1	月に1回勉強会を行っている。	院内研修は全員参加を促しており、評価の対象としています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	2	1		対象児童の評価を行い、専門職を中心にスタッフでアセスメントを行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2		1	各専門職による検査や医師と連携をとりアセスメントを行っている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1		2	関連機関と連携をとり、自分たちが何をすべきかを話し合い、設定している。	職員全員が資料に目を通すように促す。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2		1		全員が同じように支援できるように専門職から指導を行います。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか		1	2	現在クラスを小分けにしており、ほとんどのスタッフが楽しい療育を考えてくれるようになった。	基本は療育を実施する人がメインで決めている。より楽しい内容になるようにしていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1		2	季節の行事等がもりこまれている。	これからも飽きないようにバリエーションのあるプログラムを考えていきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3			関連機関や保護者と話し合い、その子に合った計画を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			朝に申し送りを行っている。新しい情報がすぐに入ってくるように職員全員に周知している。	職員全員が自発的に詳しい情報を積極的に確認するように促していきたいが、週1で短い打ち合わせの時間をとり、さらに情報共有できるようにしたい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1			全員が隙間時間を有効活用し積極的に共有するように指導していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			業務の様子を毎日記録している。それらを参考に改善している。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2		1	再評価を行い、計画を必ず見直している。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	2		1	施設責任者及び児童発達支援管理責任者、専門職員が出席している。		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2		1	乳児検診での相談など関連機関と連携をしている。		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2		1	各関連機関と密に連絡を取り合っている。		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2			各関連機関と密に連絡を取り合っている。		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1		情報共有ができるように各機関へ外向き、実際に児童の様子を見ながら先生方と話し合っている。		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2		1	情報共有ができるように各機関へ外向き、実際に児童の様子を見ながら先生方と話し合っている。		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		1	各機関と連携をとり、支援内容にズレが生じないように話し合っている。		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	イベントなど地元の児童も参加できるようにしている。	今後は機会を増やしていきたい。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			1	2	八女市の自立支援協議会に参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3				保護者の方とは密に連絡を取っており、児童の変化や要望を聞いている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか				3	希望される保護者に対してファンリテーターの資格のあるものがペアレントトレーニングを行っている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2		1	通所開始の契約時に十分な時間をとり説明している。	児童発達支援管理責任者が行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2		1	保護者の方と話し合い、個別支援計画を作成しております。専門的な意見などを提案し、同意を得て支援を開始しております。		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3				困ったことがあるときはいつでも相談できる環境づくりをしています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			1	2		今後保護者同士が集まる機会を設けたいと思っております。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3				契約書に書いてある通り、苦情解決責任者がすぐに対処しております。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3				毎月1日にここにこだよりを発行し、保護者へ向けて発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	3				個人情報についての勉強会を行っている。	職員全員が十分注意しているが指導してまいります。今年も顧問弁護士による個人情報についての勉強会を予定しております。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3				いつでも相談や見学ができる環境設定をしています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			1	2	地元の老人会や各学校教員、養護教諭の研修などで見学会や事業についての講演を行っております。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3			各委員会による勉強会や訓練が行われている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			月に1回火災訓練の実施と参加している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			看護師を中心に職員が把握し対応している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			医師の指示書や保護者の確認同意書をいただき、栄養士及び調理師が把握できている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			事業所内あり、に職員全員が目を通すようになっている。	職員全員が手に取って確認できる場所に常においている。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			年に一度は虐待の研修会を職員全員参加で行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3			必要な児童がいた場合、個別支援計画に組み込み、保護者と話し合ったうえで同意を得ている。	